GDPR の ARIS アクセラレーター インストール マニュアル

ARIS 10

2026 年 10 月

This document applies to ARIS Version 10 and to all subsequent releases.

Specifications contained herein are subject to change and these changes will be reported in subsequent release notes or new editions.

Copyright © 2010-2026 SAG Aris GmbH, Saarbrücken, Germany and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

The name ARIS and all SAG Aris GmbH product names are either trademarks or registered trademarks of SAG Aris GmbH and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

The Software may contain or be distributed with certain commercial third party components (“Third Party Components”), which may be subject to special license terms and conditions (“Third Party Terms”) located at https://aris.com/terms.

Third Party Terms include important licensing and warranty information and disclaimers of third party licensors. For the avoidance of doubt, if Customer uses the Software in accordance with the Documentation, the Third Party Terms do not restrict the rights granted under this Agreement. In the event that a third party manufacturer no longer provides active support for any Third Party Component, Supplier will use commercially reasonable efforts to respond to any issues with the Software related to the Third Party Components.

Use, reproduction, transfer, publication or disclosure is prohibited except as specifically provided for in your License Agreement with SAG Aris GmbH and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

目次

1. 参照情報および必要条件 4
2. GDPR メソッド拡張フィルターのインポートおよびマージ 5
3. GDPR データベースの復元 6
4. GDPR レポートのインポート 7
    4.1. ARIS Risk and Compliance レポートのインポート 7
    4.2. ARIS レポートのインポート 8
    4.3. マッピング ファイルのインポート 8
5. GDPR クエリのインポート 10
6. ARIS Risk and Compliance での GDPR 影響タイプの作成 12
7. ARIS アクセラレーターのインストール 14
    7.1. 完全な classicGDPR 設定の提供 14
    7.2. マージされた GDPR 設定の提供 15
    7.3. ダッシュボード変更セットを含む GDPR 設定のアクティブ化 17
    7.4. GDPR 内容タイプのインポート 18
    7.5. GDPR ダッシュボードのインポート 18
    7.6. GDPR ダッシュボードの提供 19
    7.7. ARIS で GDPR ダッシュボード ユーザー グループを作成 21
    7.8. GDPR ダッシュボードのエイリアス URL を定義する 21
8. サポートおよび法的情報 23
    8.1. ドキュメンテーションのスコープ 23
    8.2. サポート 23
    8.3. Legal notices 24

1. 参照情報および必要条件

GDPR の ARIS アクセラレーターは、一般データ保護規則 (GDPR) コンプライアンス プロジェクトを促進するために ARIS と ARIS Risk and Compliance の設定、内容、メソッド拡張を結合します。

必要条件

- ARIS と ARIS Risk and Compliance が実行中であること。
- 関連するすべてのランナブルが **STARTED** 状態であること。
- **system** ユーザーが必要なすべての権限を持っていること。 (**system** ユーザーは、管理者が権限を取り消した場合を除き、デフォルトですべての必要な権限を持っています。)**「ダッシュボード管理者」**利用権限を持っていることを確認します。
- **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip** (例: **ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip**) の解凍されたデータにアクセスできること。

詳細については、**「ARIS アクセラレーターの GDPR 表記規則」**、または ARIS Risk and Compliance または ARIS の **[技術ヘルプ]** の **[インストール]** を参照してください。

2. GDPR メソッド拡張フィルターのインポートおよびマージ

GDPR メソッド拡張フィルターのインポートおよびマージを行います。 このフィルターにより、派生されたおよびユーザー定義のメソッド構造 (モデルタイプ、オブジェクトタイプ、シンボル接続線タイプ、属性タイプ グループ) が GDPR 規則に必要な ARIS メソッドに追加されます。 これらは、GDPR 規則に必要なメソッド構造です。 他のすべてのアクセラレーターは、この拡張 ARIS メソッドに基づいています。

GDPR メソッド拡張を使用するには、**[全メソッド]** フィルターを使用するか、GDPR メソッド拡張を既存の ARIS GRC フィルターに追加します。 GDPR メソッド拡張フィルターには、GRC メソッドに基づく GDPR 用の追加拡張のみが含まれます。 GRC メソッドに関する詳細情報は、ARIS Risk and Compliance とともに配布される表記規則マニュアルを参照してください。

必要条件

参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、**[管理]** の順にクリックしてください。 **[設定]** が表示されます。
4. **[表記規則]** をクリックします。
5. 左側の **[フィルター]** をクリックします。
6. **[インポート]** をクリックします。 **[フィルターのインポート]** ダイアログ ボックスが開きます。
7. **[ファイルの選択]** をクリックします。
8. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
9. パス **GDPR accelerator > フィルター**を選択して、**GDPR method extension.filter** ファイルを選択します。
10. **[開く]** をクリックします。
11. **[インポート]** をクリックします。 フィルターがテナントにインポートされ、フィルターのリストに追加されます。
12. 必要に応じて、**GDPR メソッド拡張**フィルターを使用している GRC フィルターにマージします。
    a. **[GDPR メソッド拡張]** フィルターの行で、**[もっと見る]**、**[フィルターの編集]**、**[フィルターのマージ]** の順にクリックします。 **[フィルターの編集]** パネルが開きます。
    b. **[GDPR メソッド拡張]** フィルターと結合するフィルターを選択します。
    c. **[フィルターのマージ]** をクリックします。

フィルターが作成されます。 マージしたファイルのすべての設定を結合します。

重要: ARIS で GDPR データベースにデフォルト フィルターとしてこのフィルターを設定します (**[管理]** の **[設定] にある [データベース]** から対象のデータベースを選択して、**[もっと見る] の [デフォルト フィルター]** を選択します)。

3. GDPR データベースの復元

ARIS の GDPR データベースを復元します。 これには、ARIS モデルとしての完全な GDPR 規制と必要な GDPR 質問票 (**[アプリケーション システム資格]**、**[GDPR 処理アクティビティ (責任者)]**、**[GDPR 処理アクティビティ記録 (実行者)]**、**[GDPR 処理アクティビティ資格]**、**[GDPR データ保護の影響評価]**) が含まれます。

必要条件

参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、 **[管理]** の順にクリックしてください。 **[設定]** が表示されます。
4. **[データベース]** をクリックします。
5. **[復元]** をクリックします。 対応するダイアログ ボックスが開きます。
6. **[ファイルの選択]** をクリックします。
7. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
8. パス **GDPR accelerator > Databases** を選択して、**GDPR questionnaires.adb** ファイルを選択します。
9. **[開く]** をクリックします。
10. **[復元]** をクリックします。
11. データベースファイル **GDPR regulation model.adb** にこれらの手順を繰り返します。

データベースを使用できます。

4. GDPR レポートのインポート

GDPR レポートには、**[処理アクティビティの記録]** や **[GDPR データ保護の影響評価]**、**[GDPR 管理レポート]** などの内部および外部で使用するための ARIS および ARIS Risk and Compliance レポートや、**[データ割当マトリクス]** や **[調査インテリジェンス レポート]** などの分析が含まれます。

4.1. ARIS Risk and Compliance レポートのインポート

ARIS Risk and Compliance で実行する GDPR レポートをインポートします。

必要条件

参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、**[管理]** の順にクリックしてください。 **[設定]** が表示されます。
4. **[評価]をクリックします。** をクリックします。
5. 左側のパネルで、**[スクリプト] の [Risk and Compliance レポート]** をクリックします。
6. 新しいカテゴリを作成するか、既存のカテゴリを使用します。
   a. 新しいカテゴリを作成するには、**[カテゴリの作成]** をクリックします。
   b. レポートの名前 (「GDPR」など) を入力して **[適用]** をクリックします。
7. レポートをインポートするには、該当するカテゴリをクリックします。
   a. **[インポート]** をクリックします。
   b. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
   c. パス **GDPR accelerator > Reports > ARCM reports** を選択します。
   d. 複数選択が有効化されていないため、次のレポートのいずれかを選択してください: **Output GDPR data protection impact assessment.arx**、**Output extended GDPR management report.arx**, **Output GDPR management report.arx**、 **Output record of processing activities.arx**、または **Output survey intelligence report.arx**。
   e. **[開く]** をクリックします。 **[ファイルのインポート]** ダイアログ ボックスが開きます。
   f. レポートとともにすべてのスクリプトをインポートするために、ダイアログ ボックスですべてのスクリプトを有効化します。
   g. **[インポート]** をクリックします。
   h. 各レポートに対してインポート手順を繰り返してください。

GDPR レポートがインポートされます。

警告
ユーザーの要件に従って GDPR レポートを変更する場合、更新によって上書きされないように新しい名前を付けて保存します。

4.2. ARIS レポートのインポート

ARIS で実行する GDPR レポートをインポートします。

必要条件

参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、**[管理]** の順にクリックしてください。**[設定]** が表示されます。
4. **[評価]をクリックします。** をクリックします。
5. 左側のパネルで、**[スクリプト] の [レポート]** をクリックします。
6. カテゴリ **[ARIS Risk and Compliance]** をクリックします。
7. **[インポート]** をクリックします。
8. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
9. パス **GDPR accelerator > Reports > Reports_ARIS Risk and Compliance Manager** を選択します。
10. レポート **Data allocation matrix.arx** をクリックします。
11. **[開く]** をクリックします。**[ファイルのインポート]** ダイアログ ボックスが開きます。
12. レポートとともにすべてのスクリプトをインポートするために、ダイアログ ボックスですべてのスクリプトを有効化します。
13. **[インポート]** をクリックします。

GDPR レポートがインポートされます。

> **警告**
> ユーザーの要件に従って GDPR レポートを変更する場合、更新によって上書きされないように新しい名前を付けて保存します。

4.3. マッピング ファイルのインポート

レポートにより使用される GDPR マッピング ファイルをインポートします。

必要条件

参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、**[管理]** の順にクリックしてください。**[設定]** が表示されます。

4. **[評価]をクリックします。** をクリックします。
5. 左側のパネルで、**[スクリプト] の [共通ファイル]** をクリックします。 共通ファイルが表示されます。
6. デフォルトのマッピングを後から復元する場合は、別の場所にバックアップとして **aris2arcm-mapping.xml** を保存してください。
7. **aris2arcm-mapping.xml** を有効にして、**[削除]** をクリックします。
8. **[インポート]** をクリックします。
9. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
10. パス **GDPR accelerator > Reports > Mapping-file** を選択します。
11. **aris2arcm-mapping.xml** ファイルをクリックします。
12. **[インポート]** をクリックします。

GDPR マッピング ファイルがインポートされます。

5. GDPR クエリのインポート

GDPR ダッシュボードのデータ フィードに必要な GDPR クエリをインポートします。 この GDPR クエリを使用して、データベース アイテムをデータ テーブルとして出力できます。 GDPR クエリは、事前定義された GDPR ダッシュボードに必要です。

必要条件

参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。

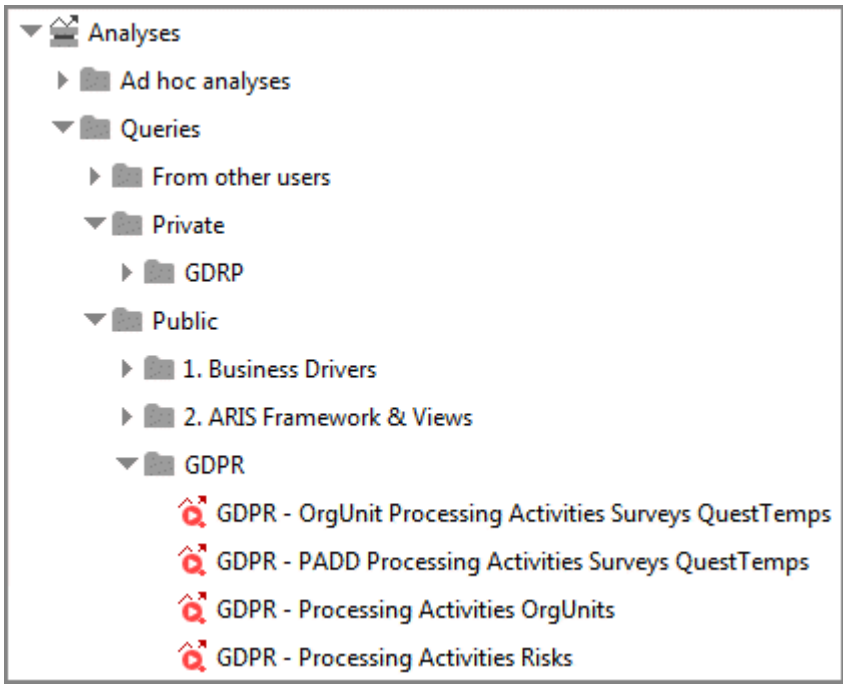
手順

1. ARIS Architect を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[ARIS]** から **[管理]** をクリックします。 **[管理]** タブが開きます。
4. **[分析]**、**[クエリ]** の順にクリックします。
5. **Private** フォルダーを右クリックします。
6. **[新規作成]** から **[フォルダー]** を選択します。
7. 名前を入力します (**「GDPR」** など)。
8. **GDPR** フォルダーを右クリックして **[クエリのインポート]** を選択します。 対応するダイアログ ボックスが開きます。
9. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
10. パス **<GDPR accelerator>\Dashboards\Octopus queries backup** を選択します。
11. すべての **.eqi** ファイルを選択します。
12. **[クエリのインポート]** をクリックします。
13. **[次へ]** をクリックします。
14. **GDPR** フォルダーを選択して **[完了]** をクリックします。
15. **[OK]** をクリックします。 クエリがインポートされます。
16. エクスプローラー ツリーで **GDPR** フォルダーを右クリックします。
17. クエリ ファイルを選択します。
18. 選択項目を右クリックし、**[公開]** をクリックします。 [クエリの公開] ダイアログが開きます。
19. **[新規グループ]** をクリックします。
20. **「GDPR」** という名前を入力します。
21. **[OK]** をクリックします。

GDPR クエリがインポートされ、公開されます。 **[GDPR]** パブリック クエリ フォルダーにインポートされたクエリが含まれます。

クエリは GUID で識別できます。 クエリの GUID を確認するには、マウス ポインターをクエリの上に移動します。 クエリが公開されると、**プライベート** フォルダーに新しい GUID で複製が作成されます。 エラーを回避するために、**プライベート** フォルダーにある複製は削除します。

例 1


Analyses
Ad hoc analyses
Queries
From other users
Private
GDRP
Public
1. Business Drivers
2. ARIS Framework & Views
GDPR
GDPR - OrgUnit Processing Activities Surveys QuestTemps
GDPR - PADD Processing Activities Surveys QuestTemps
GDPR - Processing Activities OrgUnits
GDPR - Processing Activities Risks

6. ARIS Risk and Compliance での GDPR 影響タイプの作成

さまざまな影響タイプに基づいて、ARIS Risk and Compliance でリスクを評価できます。 GDPR 影響タイプは、処理アクティビティに関連するリスクに使用されます。 データ保護オフィサーは、GDPR 影響タイプを使用して、処理アクティビティにデータ主体の高リスクを含めるかどうかを決定します。

必要条件

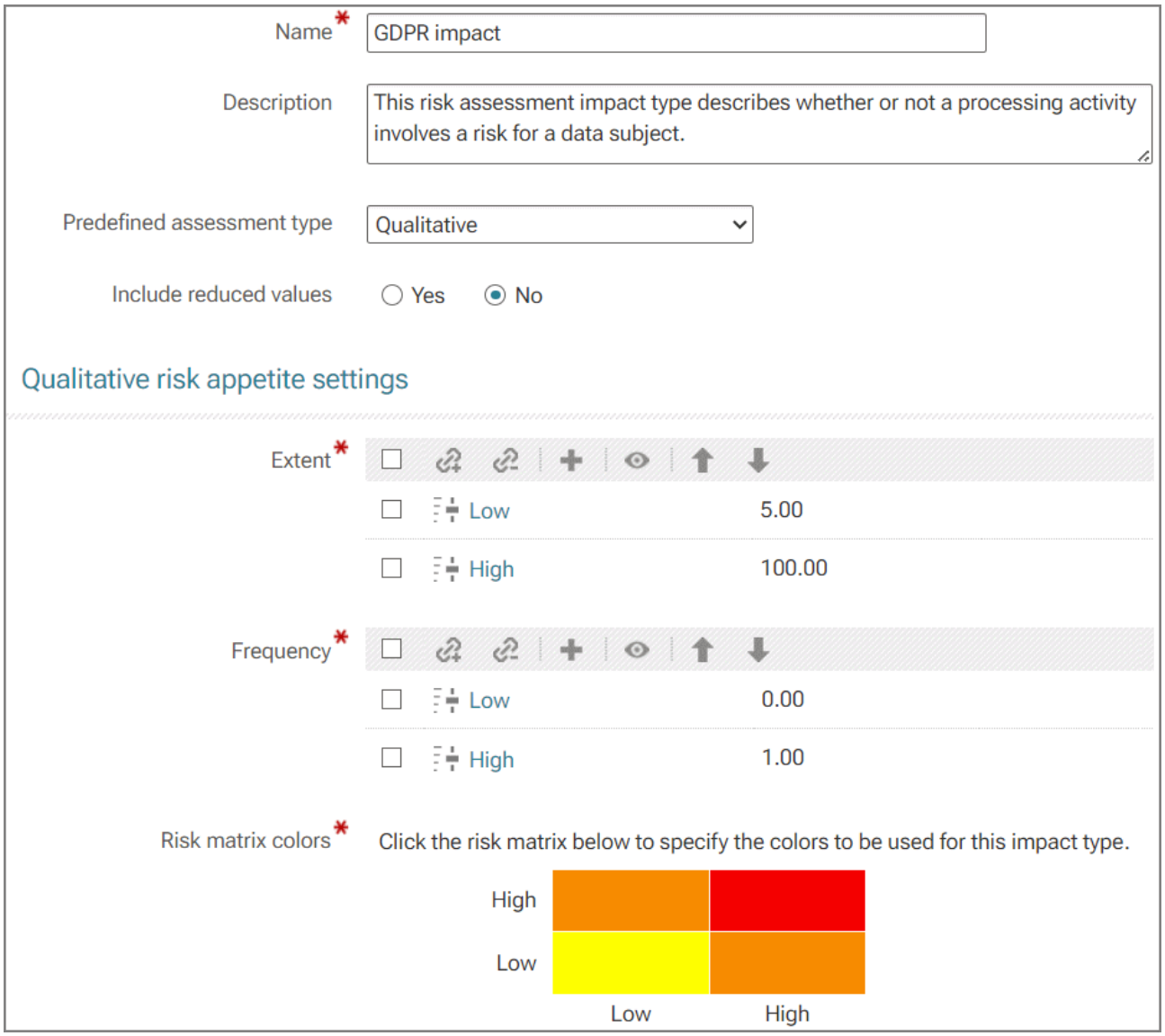
- 参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。
- **「システム管理者」**ロールを持っていること。

手順

1. ARIS Risk and Compliance を起動します。
2. **[管理]** をクリックします。 最初に **[全般]** メニュー項目が表示されます。
3. **[システム管理]** から **[基本設定]** をクリックします。
4. **[リスク管理]** をクリックします。 フォームが表示されます。
5. **[影響タイプ]** 行の➕ **[新規作成]** をクリックします。 **[影響タイプの作成]** ダイアログ ボックスが開きます。
6. **[テンプレートなし (影響タイプを新規作成)]** を選択します。
7. **[OK]** をクリックします。 **[影響タイプ]** フォームが表示されます。
8. 影響タイプに、**「GDPR 影響」**などの名前を入力します。
9. 定性的評価 (🔗) に範囲と頻度の値を割り当てるか、新規に作成します (➕)。
10. リスク スコアを計算する場合は、値に分担率を値に追加します。
11. 影響タイプをリスク マトリクス (定性的) で表示する際に使用する色を指定するために、マトリクスのセルをクリックします。
12. **[OK]** をクリックします。
13. オプションのフィールドを編集します。 たとえば、説明を入力します。
14. 💾 **[保存]** をクリックします。

GDPR 影響タイプが作成されます。

例 2


Name *
GDPR impact
Description
This risk assessment impact type describes whether or not a processing activity involves a risk for a data subject.
Predefined assessment type
Qualitative
Include reduced values
Yes
No
Qualitative risk appetite settings
Extent *
Low
5.00
High
100.00
Frequency *
Low
0.00
High
1.00
Risk matrix colors *
Click the risk matrix below to specify the colors to be used for this impact type.
High
Low
Low
High

7. ARIS アクセラレーターのインストール

GDPR の ARIS アクセラレーターには、GDPR ダッシュボードと処理アクティビティのデータ収集を容易にし、標準化するための ARIS **クラシック設定**セットの拡張バージョンが含まれます。 GDPR の拡張された ARIS ファクト シートを使用した場合、組織の複数の人が容易に GDPR に寄与することができます。 GDPR ダッシュボードの提供内容:

- 各組織ユニットの処理アクティビティのわかりやすい概要。
- GDPR 調査と GDPR リスク評価のステータスと結果。
- データ保護の影響評価の結果にしたがって、対応する必要がある課題。

ARIS クラシック設定セットの拡張バージョンは、完全な設定セットのほか、デルタ ファイルとして提供されます。 GDPR 拡張とマージする ARIS の個別設定を使用する場合は、デルタ ファイルを使用できます。

7.1. 完全な classicGDPR 設定の提供

ARIS に **classicGDPR** 設定セットを提供します。 **classicGDPR** 設定セットは、標準のクラシック設定の拡張です。

必要条件

- 参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。
- ARIS の設定では、アイテム タイプが特定のシンボルを持つ ARIS オブジェクト タイプに基づく場合があります。 例: ARIS の **[統制]** アイテム タイプは、ARIS の **[統制]** シンボルを持つ **[ファンクション]** オブジェクト タイプです。 ARIS アイテム タイプに含まれるすべてのオブジェクト タイプとシンボル タイプの組み合わせは、個別に指定されている必要があります。 そのため、統制またはファンクションとして識別されるすべてのシンボルは、個別に作成されたシンボルを含めて、手動で設定 XML に追加します。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、 **[管理]** の順にクリックしてください。
4. **[公開設定] の [設定セットの管理]** をクリックします。
5. **[復元]** をクリックします。 ファイル選択ダイアログ ボックスが開きます。
6. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
7. **<GDPR accelerator>\Configuration sets\classicGDPR upload** パスを選択します。
8. **classicGDPR.zip** ファイルをクリックします。

9. **[開く]** をクリックします。 **[ファイルのアップロード]** ダイアログ ボックスが閉じます。 **classicGDPR** 設定セットを使用できます。 ない場合は、最新の変更をもう一度読み込みます。
   a. 新しいブラウザー タブを開きます。
   b. **「<サーバー名>:<ポート番号>/<テナント>/reloadConfig」** と入力します (例: **https://connectserver.eu.comp:1080/#default/reloadConfig**)。
   c. **[設定ファイルの再ロードと確認]** をクリックします。
   d. 再ロードと確認が完了したら、ブラウザー タブを閉じます。
   classicGDPR 設定セットを使用できます。
10. 設定セットをアクティブ化します。
   a. マウス ポインターを復元済みの設定セットに移動します。
   b. ✔ **[アクティブ化]** をクリックします。 設定セットが **[(アクティブ)]** とマークされます。

classicGDPR 設定セットをインポートしてアクティブ化します。

これで、GDPR ダッシュボードに変更セットを追加でき、GDPR ダッシュボードを提供 [19]できます。

7.2. マージされた GDPR 設定の提供

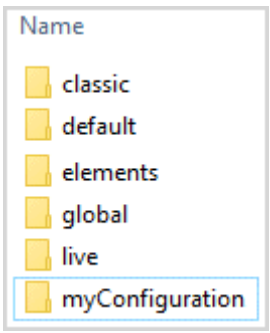
既存の ARIS 設定を使用して、classicGDPR 設定セットを復元 [12]せずに、デルタ ファイルによる該当する GDPR の変更を追加できます。

必要条件

- 参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。
- ARIS の設定では、アイテム タイプが特定のシンボルを持つ ARIS オブジェクト タイプに基づく場合があります。 例: ARIS の [統制] アイテム タイプは、ARIS の [統制] シンボルを持つ [ファンクション] オブジェクト タイプです。 ARIS アイテム タイプに含まれるすべてのオブジェクト タイプとシンボル タイプの組み合わせは、個別に指定されている必要があります。 そのため、統制またはファンクションとして識別されるすべてのシンボルは、個別に作成されたシンボルを含めて、手動で設定 XML に追加します。

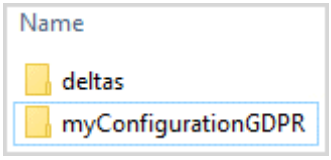
手順

1. <ARIS インストール フォルダー>\<バージョン >\server\bin\work\work_copernicus_m\base\webapps\ROOT\WEB-INF\config フォルダーに移動します。ここには個別の ARIS 設定セットが格納されています (myConfiguration など)。 例:



2. 使用している個別設定のフォルダー ([myConfiguration] フォルダーなど) を、マージ用に準備する場所に (デスクトップなど) コピーします。
3. コピーしたフォルダーの名前を myConfigurationGDPR などに変更して、設定セットの名前が一意になるようにします。

4. マージに使用するフォルダー内に、deltas という名前で新しいフォルダーを作成します。 マージを機能させるには、この名前を使用する必要があります。 例:



5. ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip) の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
6. <GDPR accelerator>\Configuration sets\cop_delta_classicGDPR\deltas パスを選択します。
7. [delta-classicGDPR] フォルダーをクリップボードにコピーします。
8. クリップボードから [delta-classicGDPR] フォルダーを、手順 4 で作成した [deltas] フォルダーに貼り付けます。
9. マージに使用する、フォルダー内のディレクトリ [\deltaMapping] に移動します (myConfigurationGDPR\deltaMapping など)。
10. deltaMapping.xml ファイルを編集します。
    a. <mappingMode> パラメーターを有効にします。 デフォルトでは、このパラメーターは無効化されています。
    b. <mapping> セクションで delta-classicGDPR という値を deltaName として入力します。
    c. <database> の下に、マージされた変更セットが使用されるすべてのデータベース名を入力します (例: <database>ユナイテッド・モーター・グループ</database>)。
    d. 変更を保存します。

    例:

    ...

    <mappingMode>enabled</mappingMode>

    <mappings>

    <mapping deltaName="delta-classicGDPR">

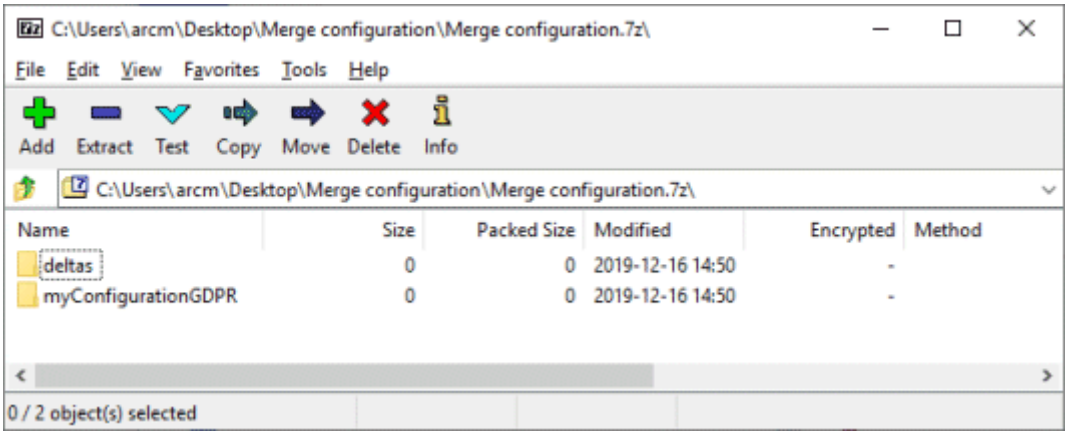
    <databases>

    <database>ユナイテッド・モーター・グループ</database>

    </databases>

    </mapping>

    </mappings>
11. マージに使用するフォルダーを含む ZIP ファイルを作成します (myConfigurationGDPR と deltas フォルダーなど)。 関連する GDPR の変更が既存の設定セットに追加され、ZIP ファイルとして用意されます。 例:



12. この設定セットを復元します。
    a. ARIS を起動します。
    b. システム ユーザーとしてログオンしていること。
    c. [アプリケーション起動ツール]、[管理] の順にクリックしてください。
    d. [公開設定] の [設定セットの管理] をクリックします。
    e. [復元] をクリックします。 ファイル選択ダイアログ ボックスが開きます。
    f. 以前に作成した ZIP ファイルに移動し、ファイルを選択します。
    g. [開く] をクリックします。 [ファイルのアップロード] ダイアログ ボックスが閉じます。
    マージされた設定セットを使用できます。
13. 設定セットをアクティブ化します。
    a. マウス ポインターを復元済みの設定セットに移動します。
    b. [アクティブ化] をクリックします。 設定セットが [(アクティブ)] とマークされます。

マージされた ARIS の GDPR 設定が作成およびアクティブ化されます。

これで、GDPR ダッシュボードに変更セットを追加でき、GDPR ダッシュボードを提供 [19]できます。

7.3. ダッシュボード変更セットを含む GDPR 設定のアクティブ化

ARIS に設定セットを指定したら、変更セットを作成してアクティブ化し、GDPR ダッシュボードを ARIS で使用できるようにします。

必要条件

- 参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。
- 完全な **classicGDPR** 設定 [14]またはマージされた GDPR 設定 [15]を使用できます。

手順

1. ARIS を起動します。
2. システム ユーザーとしてログオンしていること。
3. [アプリケーション起動ツール]、**[管理]** の順にクリックしてください。
4. **[公開設定] の [設定セットの管理]** をクリックします。
5. classicGDPR 設定セットまたはマージされた GDPR 設定セットが [(アクティブ)] とマークされていることを確認します。
6. [設定と変更セット] 領域で **[作成]** をクリックします。 **[変更セットの作成]** ダイアログ ボックスが開きます。
7. 変更セットの名前を入力します (classicGDPR_dashboards など)。
8. classicGDPR または merged GDPR [15] テンプレートを選択します。
9. [作成] をクリックします。 変更セットが作成されます。 選択したテンプレートのすべての要素が含まれます。
10. [classicGDPR_dashboards] などの新規に作成された変更セットの上にマウス ポインターを移動します。
11. **[アクティブ化]** をクリックします。 classicGDPR_dashboards 変更セットが [(アクティブ)] とマークされます。

classicGDPR_dashboards 変更セットがアクティブであること。

これで GDPR 内容タイプをインポート [18]できます。

7.4. GDPR 内容タイプのインポート

ARIS で変更セットをアクティブ化した後、GDPR 内容タイプ セットをインポートおよびアクティブ化して、GDPR 内容を利用可能にします。

注

以下の説明は、書込保護された **[既定のセット]** に基づきます。 カスタマイズされた内容セットをアクティブ化した場合は、GDPR 機能を提供するために **[[公開内容] に対してアクティブ]** オプションを無効にします。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、 **[管理]** の順にクリックしてください。
4. **[公開設定]**、**[内容タイプの設定]** の順にクリックします。
5. **[内容タイプ セットへ移動]** をクリックします。
6. **[インポート]**、**[ファイルからインポート]** の順にクリックします。 ダイアログ ボックスが表示されます。
7. **[ファイルの選択]** をクリックします。
8. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
9. **<GDPR accelerator>\Content configuration** パスを選択します。
10. **classicGDPR.cce** ファイルをクリックします。
11. **[開く]** をクリックします。 **[ファイルのアップロード]** ダイアログ ボックスが閉じます。
12. **[ファイルからインポート]** ダイアログ ボックスで **[インポート]** をクリックします。 ダイアログ ボックスが閉じます。
13. ✓
14. アクティブ化された内容タイプ セットを移譲してから、**[モデル作成に対してアクティブ化する]** と **[[公開内容] に対してアクティブ]** を有効にします。

これで GDPR ダッシュボードをインポート [18]できます。

7.5. GDPR ダッシュボードのインポート

GDPR ダッシュボードを ARIS リポジトリにインポートします。

必要条件

参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。

3. **[アプリケーション起動ツール]**、**[ダッシュボード & データ フィード]** の順にクリックしてください。 ダッシュボードが表示されます。
4. **[インポート]をクリックします。** をクリックします。対応するダイアログ ボックスが開きます。
5. **[インポート ファイルの選択]** をクリックします。
6. **ARIS Accelerators for GDPR-<バージョン番号>.<変更リスト番号>.zip (例: ARIS Accelerators for GDPR-10.0.10.1.1263081.zip)** の解凍されたデータが保管されているディレクトリに移動します。
7. パス **<GDPR accelerator>\Dashboards\AWARE export** を選択します。
8. **GDPR+-+Overview.zip** などのファイルをクリックします。 ファイルは **ZIP** 形式で、ダッシュボードが 1 つと関連するデータフィードが含まれます。 このファイルには、ダッシュボードの権限も含まれます。
9. **[開く]** をクリックします。 **[ファイルのアップロード]** ダイアログ ボックスが閉じます。
10. リポジトリで使用可能なダッシュボードを置き換える場合、**[すでに存在する場合は上書きする]** オプションをアクティブ化します。
11. ダッシュボード ファイルに含まれるダッシュボードの権限もインポートする場合は、**[権限をインポートする]** をアクティブ化します。 このオプションは、デフォルトでアクティブになっています。
12. **[インポート]** をクリックします。
13. すべてのほかのダッシュボード ファイルに対して手順 9 から 13 を繰り返します。

    注: すべての GDPR ダッシュボードをインポートすると、**[インポート結果]** ダイアログ ボックスが表示され、インポートされたデータ フィードがすでに存在することが警告されます。 同じデータ フィードが、複数のダッシュボードの一部に含まれます。 これは問題になりませんので、ダイアログ ボックスを閉じることができます。

[GDPG] ダッシュボードと関連データ フィードがインポートされます ダッシュボードとデータ フィードが **[アプリケーション起動ツール]** の **[ダッシュボードとデータ フィード]** に表示されます。

[GDPR] ダッシュボードは、ARIS クエリによって ARIS データベースからデータを抽出します。 クエリのデフォルト データベース言語として、英語が使用されます。 一部の GDPR 属性は言語依存です。 特に、処理アクティビティの識別に使用される属性です。 英語以外の ARIS データベース言語を使用する場合は、エラーを回避するために、データ フィードで言語を変更する必要があります。 そのためには、**[GDPR - dbLanguage]** データ フィードを開き、ARIS データベース用に選択したのと同じ言語を、**[テキストのユーザー入力]** 演算子の **[デフォルト値]** と **[プレビュー値]** のパラメーターに指定します。 詳細情報は、**「データフィード エディター」** のヘルプを参照してください。

7.6. GDPR ダッシュボードの提供

ARIS の GDPR ダッシュボードをアクティブにします。

必要条件

- 参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。
- ARIS サーバー が、**dashboarding** ランナブルがアクティブおよび実行されている ARIS Aware に対して有効であること。 詳細は、ARIS の**技術ヘルプ**にある**「ARIS server Installation」**または **ARIS server Installation.pdf** ガイドを参照してください。
- **Aware (YCSAW) ARIS サーバー**拡張パックに有効なサーバー ライセンスが ARIS 管理 で使用できること。
- **classicGDPR_dashboards** 変更セットが使用可能でアクティブになっていること [17]。
- **GDPR 内容タイプ セット**をインポートしてアクティブ化 [18]します。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、**[管理]** の順にクリックしてください。
4. **[公開設定] の [設定セットの管理]** をクリックします。 **classicGDPR_dashboards** 変更セットが **[(アクティブ)]** とマークされます。
5. マウス ポインターを **lassicGDPR_dashboards** 変更セットの上に移動して **[編集]** をクリックします。 **[変更セットの定義]** ページが開きます。
6. **[ファクト シート]** をクリックします。 ファクト シートに利用できるすべてのアイテムが表示されます。
7. **orgUnit** アイテムに移動します。
8. マウス ポインターを **orgUnit** アイテムの上に移動して **[編集]** をクリックします。 **[下位シート(内容)]** ページが開きます。 異なる領域のアイテムが表示されます。
9. マウス ポインターを **ダッシュボード**の上に移動して **[編集]** をクリックします。 **[ダッシュボード]** ページが開きます。
10. **[追加]** をクリックします。 **[ダッシュボードの追加]** ダイアログ ボックスが開きます。
11. インポートされたすべての GDPR ダッシュボードが表示 [18]されます。
12. 目的のダッシュボードの名前 (**[GDPR - Overiew]** など) をコピーします。
13. **[GDPR – Overview]** をクリップボードから目的の言語の **[名前]** フィールドに貼り付けます。
14. ダッシュボードを表示するデータベースを有効化します。
15. ダッシュボードの一覧に追加するダッシュボード (**[GDPR - Overiew]** など) が選択されたままになっていることを確認します。
16. **[追加]** をクリックします。
17. その他のダッシュボード (**[GDPR – Workflow]**、**[GDPR - DPIA Answers (organizational units)]**、**[GDPR - DPIA Issues (organizational units)]**) についても手順 10 ～ 15 を繰り返します。
18. **[変更セットの定義]** が表示されるまで、**[戻る]** をクリックします。
19. **procActivityDetails** アイテムに移動します。
20. マウス ポインターを **procActivityDetails** アイテムの上に移動して **[編集]** をクリックします。 **[下位シート(内容)]** ページが開きます。 異なる領域のアイテムが表示されます。
21. **[追加]** をクリックします。
22. 下位シートの一覧から**ダッシュボード**を選択します。
23. **[追加]** をクリックします。
24. マウス ポインターを **ダッシュボード**の上に移動して **[編集]** をクリックします。 **[ダッシュボード]** ページが開きます。
25. **[GDPR – DPIA Answers (processing activities)]** と **[GDPR – DPIA Issues (processing activities)]** のダッシュボードについて手順 10 ～ 15 を繰り返します。
26. **[設定と変更セット]** が表示されるまで、**[戻る]** をクリックします。

GDPR ダッシュボードが使用できます。 ダッシュボードの管理の詳細については、ARIS のヘルプの**「ダッシュボードの管理 」**の章を参照してください。

7.7. ARIS で GDPR ダッシュボード ユーザー グループを作成

GDPR ダッシュボード ユーザーの新しいユーザー グループを作成します。 ダッシュボード アクセス権限はグループを介して割り当てることも、ユーザーに直接割り当てることもできます。 割り当てのタイプは、ユーザー管理に表示されます。

必要条件

参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。

手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]、** **[管理]** の順にクリックしてください。
4. **[ユーザー管理]** をクリックして、**[ユーザー グループ]** を選択してください。 ユーザー グループの一覧が表示されます。
5. **[ユーザー グループの追加]** をクリックします。
6. **GDPR Dashboard** という名前を入力します。 ダッシュボードが割り当てられたユーザーに確実に表示されるように、正確にこの名を使用してください。 LDAP システムに既に存在するユーザー グループを作成する場合は、ユーザー グループ名が一致する必要があります。 これが、既存の ARIS ユーザー グループを LDAP ユーザー グループに割り当てる唯一の方法です。
7. オプションの説明を入力します。
8. **[保存]** をクリックします。 ユーザー グループが作成されます。
9. **[割り当てられたユーザー]** をクリックします。
10. **[割り当ての編集]をクリックします。** をクリックします。 **[ユーザーの割り当て]** ダイアログが開きます。
11. **[使用できるユーザー]** の下で、割り当てるすべてのユーザーを有効にしてから、**[追加]** をクリックします。 すべての使用できるユーザー を割り当てるには**[すべて追加]** をクリックします。 ユーザーが **[割り当てられたユーザー]** に追加されます。
12. ユーザーを再び削除するには、**[割り当てられたユーザー]** の下でそれらのユーザーを有効にして、**[削除]** をクリックします。 すべてのユーザーを削除するには**[すべて削除]** をクリックします。

目的のユーザーを含む**「GDPR Dashboard」**ユーザー グループが作成されます。 関連するユーザーが GDPR ダッシュボードを使用できるようになります。

7.8. GDPR ダッシュボードのエイリアス URL を定義する

GDPR ダッシュボードにエイリアス URL を定義すると、ダッシュボーとデータ フィードで使用するリンクを短縮できます。 エイリアスを使用する場合、URL 全体を入力する必要はなく、データを保存する場所へのパスのみ入力します。 エイリアス URL は GDPR ダッシュボードに必要です。

必要条件

- 参照情報および必要条件 [4]をご覧ください。
- お使いの ARIS サーバー が、ARIS のダッシュボード エディターに有効化されている、つまり **dashboarding** ランナブルがアクティブであり実行されていること (ARIS の **[技術ヘルプ]**の **[インストール]** または **[設定] の [コマンドライン ツール] にある [ARIS Cloud Controller]** を参照してください)。

- **Aware (YCSAW) ARIS サーバー**拡張パックに有効なサーバー ライセンスが ARIS 管理 で使用できること。

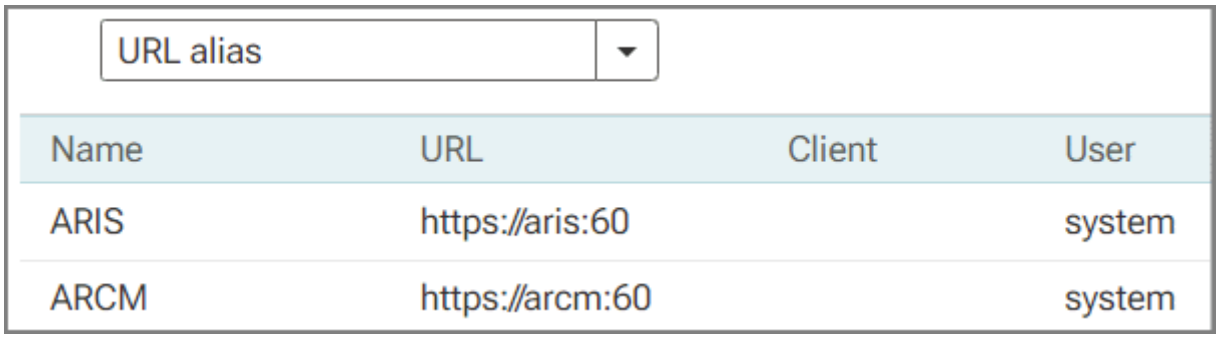
手順

1. ARIS を起動します。
2. **システム ユーザー**としてログオンしていること。
3. **[アプリケーション起動ツール]**、**[管理]** の順にクリックしてください。
4. **[ダッシュボード]** をクリックします。
5. **[設定の追加]** をクリックします。 **[プロパティの追加]** ダイアログが開きます。
6. 次のプロパティを入力します:
   a. 名前: **ARIS**
   b. ダッシュボードが割り当てられたユーザーに確実に表示されるように、正確にこの名を使用してください。
   c. プロトコル: **http**
   d. ホスト: <サーバーの名前>
   e. ポート: <ロード バランサー ポート>
   f. ユーザー: **system**
   g. パスワード: <**system** ユーザーのパスワード>
7. **[保存]** をクリックします。
8. **ARCM** エイリアス URL に対してこれらの手順を繰り返します。 ダッシュボードが割り当てられたユーザーに確実に表示されるように、正確にこの名を使用してください。 同じプロパティを使用します。

ARIS および **ARCM** の GDPR ダッシュボードのエイリアス URL が定義されます。

すべての GDPR の ARIS アクセラレーターがこれでインストールされ、使用する準備が整います。

例 3



8. サポートおよび法的情報

このセクションは、製品サポートと法律に関する一般情報を提供します。

8.1. ドキュメンテーションのスコープ

提供されている情報では、印刷が行われた時点における設定および機能について説明しています。ドキュメンテーションとソフトウェアの生産サイクルが異なるため、設定や機能に関する説明が、実際の設定や機能と異なることがあります。相違に関する情報は製品に付属しているリリース ノートに記載されています。リリース ノートをお読みになり、記載されている情報を考慮して製品をインストール、設定、および使用してください。

SAG ARIS GmbH によって提供されるコンサルティング サービスを利用せずにシステムの技術的機能と業務機能をインストールする場合は、インストールするシステム、その目的、対象システム、さまざまな依存性などに関して広範な知識が必要です。プラットフォームの数が多く、ハードウェアとソフトウェアの設定が相互に依存するので、特定のインストール シナリオしか説明できません。すべての設定と依存性を記述することはできません。

各種の技術を組み合わせる場合は、製造元の指示 (特にインターネット ページに公開されたリリースに関するお知らせ) に従ってください。承認されているサードパーティ システムが正しく機能すること、および正しくインストールされることの保証はいたしかねます。また、サードパーティ システムはサポートしていません。必ず、該当の製造元のインストール マニュアルに記載されている手順に従ってください。問題がある場合は、製造元にお問い合わせください。

サードパーティ システムのインストールにサポートが必要な場合は、最寄りの ARIS の販売部門にお問い合わせください。このような製造元またはお客様固有の変更は、ARIS の標準ソフトウェア保守契約の対象ではありません。このような変更は、それを特別に要請し、同意した場合にのみ実行できます。

8.2. サポート

製品サポート

有効なサポート契約をお持ちのすべてのお客様に ARIS 製品のサポートを提供しています。

使用可能な製品バージョンおよびサポート、サポート提供の日程に関する情報は、ARIS Community をご覧ください。

サポート インシデントを作成および更新したり、アイデアと将来的なリクエストを投稿するには、ARIS Community のグローバル サポートにご連絡ください。

Community

ARIS Community に登録すると、製品のダウンロード、アップデートおよび修正、専門的な情報の検索、他のユーザーとの情報交換を行うことができます。

文書

製品の使用方法およびアクティブ化する方法、およびその他の技術サポートに関する質問は、
ARIS Documentation Web サイトをご利用ください。

文書のトピックに関するフィードバックは、 documentation@aris.com までお寄せください。

8.3. Legal notices

This document applies to ARIS Version 10 and to all subsequent releases.

Specifications contained herein are subject to change and these changes will be reported in subsequent release notes or new editions.

Copyright © 2010-2026 SAG Aris GmbH, Saarbrücken, Germany and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

The name ARIS and all SAG Aris GmbH product names are either trademarks or registered trademarks of SAG Aris GmbH and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

The Software may contain or be distributed with certain commercial third party components (“Third Party Components”), which may be subject to special license terms and conditions (“Third Party Terms”) located at https://aris.com/terms.

Third Party Terms include important licensing and warranty information and disclaimers of third party licensors. For the avoidance of doubt, if Customer uses the Software in accordance with the Documentation, the Third Party Terms do not restrict the rights granted under this Agreement. In the event that a third party manufacturer no longer provides active support for any Third Party Component, Supplier will use commercially reasonable efforts to respond to any issues with the Software related to the Third Party Components.

Use, reproduction, transfer, publication or disclosure is prohibited except as specifically provided for in your License Agreement with SAG Aris GmbH and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.